



Pick Up News

トビタテの最新ニュースをお届けします！



トビタテ「寄附型自動販売機」の設置がスタート



トビタテへの新しい寄附の形として、寄附型自動販売機の設置を開始しました。自動販売機の収益の一部が、学生の海外留学資金になるという仕組みです。

第一号機は、東京海洋大学品川キャンパスと越中島キャンパスに設置され、2018年12月21日（金）に設置記念式典が行われました。今後も、大学・高校・企業等を含め全国10,000台の設置を目指して、設置にご協力いただけるよう営業活動をしていく予定です。

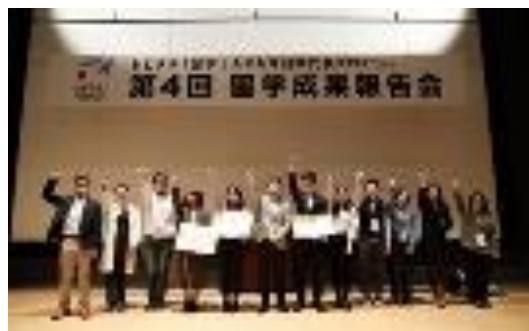
設置・ご相談

お問合せ先：特定非営利活動法人寄付型自動販売機普及協会

☎ 0120-937-650

第4回留学成果発表会を開催

2019年2月3日（日）に文部科学省講堂にて第4回トビタテ留学成果報告会を開催。全国7都市での留学体験発表会で留学機運を高めるプレゼンテーションをした21名が選ばれ、それぞれが留学で得たこと、将来の展望を力強く語りました。最優秀賞に輝いた、宇宙工学者を目指す菅井雄斗さん（高校生コース）、栄養バランスの整ったアメリカ型の一汁三菜弁当を開発した安永麻紀さん（大学生等コース）でした。当日は柴山昌彦文部科学大臣も出席され、300名超が集まる盛会となりました。



① オーストリア・国際原子力機関(IAEA)でのインターンを経て



 本人寄稿 理系、複合融合系人材コース 木内寛允さん


私は国際的な視野で原子力発電の是非を見極めるため、国際原子力機関でのインターンを経験しました。国際会議の準備補佐や、原発導入を検討する国への意思決定を援助するアプリの開発に携わりました。国際会議で目の当たりにしたのは、各国の意思決定が交錯する国際機関では、国としてのプレゼンスを発揮することがいかに重要であるかということです。しかし、国際的な場においては、日本人特有の内向きには危機感を覚えました。国としてのプレゼンスを示すためには、グローバル化社会の中で、対等に渡り合える国際的な人材の育

成が必須だと感じました。今後もトビタテの留学制度をきっかけに、世界にプレゼンスを示せる人材が育つことを期待しています。



② 愛と絆で繋ぐ！日本とアラブの将来 ～アラブの2つの顔を見つめて～



 本人寄稿 新興国コース5期生 矢野いずみさん

私は、ヨルダンとアラブ首長国連邦へ留学しました。

まず、ヨルダンでは、内戦による経済疲弊を受け、奨学金が停止したイエメン人男子学生たちと1年間、同じ家で暮らしました。イエメン人は、アラブ人の中でも、アラブ文化を強烈に受け継いでおり、衝突も多くありました。異文化・異教徒・異性の壁と一緒に乗り越えながら、アラブ人と心から繋がっていくスキルを身につけました。

その後、アラブ経済の中心・ドバイでは、中東販路開拓に関する5ヶ月のインターンを経験しました。

将来は中東地域の戦後復興に強く貢献したいと同時に、あらゆる面で日本とアラブを最前線で繋ぐ人材として活躍したいと考えています。



トビタテコミュニティ とまりぎ

「とまりぎ」は帰国したトビタテ生によって運営される同窓組織です。とまりぎのメンバーから寄せられたメッセージをお届けします。



イベント報告レポート

2019/2/23 「トビタテ！ 広告・メディア会」

とまりぎでは学生トビタテ生と社会人が交流できる機会をつくってきました。

(過去にHR会やメーカー会を開催しました。)

今回は、広告・メディア関係の仕事をしている社会人から、留学を控えたトビタテ生まで幅広い層が集まりました。参加者同士で、好きな広告クリエイティブやプロモーション事例をシェアするなど、情報交換の場として非常に有意義な時間になりました。

次回は、3/23「トビタテ！ セールス会」を開催予定です！ イベント詳細は、とまりぎのサイト (<http://tobitate-net.com/>) をご覧ください。



ラテンアメリカに留学した陽気なトビタテガールズの留学体験記と、元コマツメキシコ副社長 橋本由浩氏のラテンアメリカでのビジネスを通じた社会貢献活動をお話しいただきます。

参加費
無料

2019/3/13

19:00~20:45

@文部科学省

1. ラテン留学発表

2. ゲストによる講演



アマゾンの熱帯雨林で
微生物の研究

スラムに恋した日本人
サンバダンサー

メキシコで3万人集めて
日墨文化交流

元コマツメキシコ
副社長 橋本氏

お申込みは
QRコードから



トビタテ！留学JAPAN事務局
(担当：服部、胡麻本、丸田)
Tel: 03-5253-4111 (内線:4931)
Mail: tobitate-private@mext.go.jp

感謝の声



奨学金を受けた学生の声をご紹介します

私はアメリカに留学し、現地のディベートチームで「全米ディベート大会優勝」という功績を残しました。相当英語力があって昔からディベートが強い人のように聞こえますが、そうではありません。私はトビタテによって未来に向かって『トビタテ』学生たちのうちの一人にすぎません。

ディベートチームでの日々は、自分の弱さとの闘いでした。英語力や論述力だけでなく、人より前に出れない臆病さ、建前や謙遜が抜けられない性格、人種のマイノリティとして生きること、練習のたびに打ち砕かれる自信、分からないことを素直に言えない見栄など、乗り越えなければならない課題とひたすらに向き合い続けました。大会で優勝した日にコーチが「君は自分に勝ったから誰よりも強いんだ」と言ってくれたことが今でも忘れられません。

留学をしなくても成長はできます。しかしこれまでは、見えない天井を自分の上に作ってすぐに満足していたように思います。海外に出て初めてその天井を打ち砕き、本当の意味で大空にトビタテるようになるのだと思います。

トビタテで受けた奨学金は9か月の留学期間だけでなく、この先の私の人生を支える力になっています。この恩恵に感謝すると共に、より多くの日本の学生がトビタテるよう私もその力になりたいと思います。



多様性人材コース 6期生 茂木麻希

寄付者からのメッセージ

大坪 隆志様

私自身、海外留学しておけばよかったという後悔があります。私の時代は留学というのは特別な人のするものというイメージで、その発想もありませんでした。

この事業こそ、10年後、100年後の日本の未来の礎を作る事業だと思っています。微々たる金額ですが寄付をさせていただくことにしました。



酒井南奈様

5期世界トップレベル大学等コース (フランス・ルワンダ)

私が毎月支援をしたいと考えた経緯は自身がトビタテ！留学JAPANの制度を通して現地に“留まって学ぶ”経験の価値やトビタテのコミュニティの魅力を体感していたというだけではありません。“日本の高校生の留学を後押ししていきたい”という思いが、継続的に支援しようと決めた一番の理由です。



ご寄附のお願い

1人でも多く意欲と能力ある若者が海外で挑戦を続けられるよう、温かいご支援を引き続き宜しくお願い申し上げます。日本の未来を担う若者の留学を応援するコミュニティにあなたも参加しませんか。

ご寄附の方法

一括で寄附する

1年に一回、半年に一回、毎月のご寄附が選べます

継続的に寄附する

いつでも1,000円からご寄附できます

トビタテ 寄附

検索

以下のクレジットカードでご寄附いただけます



お問い合わせ先 (個人寄附担当宛)

✉ tobitate-private@mext.go.jp

☎ 03-5253-4111 (内線4927) 受付時間：10:00~17:00